

製品安全データシート

【混合物用（塗料用）】

【製造者情報】

会社名 玄々化学工業株式会社
住所 〒496-0005愛知県津島市神守町字中ノ折74
担当部門 研究開発グループ
担当者 杉野克美
電話番号 0567-28-9207 F A X 番号 0567-28-9219
緊急連絡先 玄々化学工業(株)
電話番号 05 67-28-9212
作成改訂 2005年4月1日

【製品名】

ピュアB液 US - 94 - P用 UF - 19 - P用
CB - 016

【製品説明】

種類: ウレタン樹脂塗料 硬化剤
主な用途: 木工製品

【物質の特定】

単一 / 混合物 : 混合物製品

化学物質名	CAS No.	含有量	備考
酢酸エチル	141-78-6	36.8%	労安法_MSDS基準
酢酸ブチル	123-86-4	41.2%	労安法_MSDS基準

【危険有害性の分類】

分類の名称 : 引火性液体, 急性毒性物質
危険有害性コメント : ・非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。
・有機溶剤中毒を起こす恐れがある。
環境への影響は報告されていない。

【応急措置】

目に入った場合 : ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。
・出来るだけ速く医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : ・付着物を布にて素早く拭き取る。
・大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しない。
・外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受ける。

吸入した場合 : ・蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受ける。
・蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所安静にし、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : ・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。
・嘔吐物は飲み込ませない。
・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

【火災時の措置】

- 使用可能消火剤 : 炭酸ガス, 泡, 粉末
- 消火方法 : ・適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
 ・可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
 ・指定の消火剤を使用する。
 ・高温にさらされる密封容器は水を掛けて冷却する。
 ・消火活動は風上より行う。
 ・水を消火に用いてはならない。

【漏出時の措置】

- ・作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物などは、関係法規にもとずいて処置をする。
- ・付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
- ・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
- ・衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
- ・乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
- ・河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

【取扱い及び保管上の注意】

- 取扱い : ・換気の良い場所で取り扱う。
 ・容器はその都度密栓する。
 ・静電気対策のための、装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。
 ・工具は火花防止型のものを使用する。
 ・使用済みウエス、スプレーガスト等は廃棄するまで水に漬けておく。
 ・作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
 ・周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
 ・密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業する。
- 保管 : ・日光の直射を避ける。
 ・通風のよいところに保管する。
 ・火気、熱源から遠ざけて保管する。

【暴露防止措置】

- 設備対策 : ・取扱い設備は防爆型を使用する。
 ・排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
 ・液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースを取るよう設備する。
 ・取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とする。
 ・屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とする。
 ・タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。

保護具

- 目の保護 : ・取り扱いには保護メガネを着用する。
- 皮膚の保護 : ・取り扱い場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を付けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。
 ・有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
 ・状況に応じ、前掛け、長靴等を使用する。
- 呼吸系の保護 : ・適切なマスクを使用する。

【物理 / 化学的性質】

状態 : 1.液体
 色相 : 無色
 臭気 : 溶剤臭
 沸点 : 情報を有していない。
 蒸気圧 : 情報を有していない。
 密度 (比重) : 0.95 (20)
 pH値 :

【危険性情報】

製品特徴

引火点 : -1
 発火点 : 344 (参考値)
 爆発限界 下限 : 情報を有していない。
 上限 : 情報を有していない。

反応性・安定性情報

条件 : ・通常の条件下では安定である。
 接触により危険性の : ・水、アルコール、アミン類と反応する。

ある物質

燃焼による有害ガス : ・CO, NOxその他低分子モノマー等のガスが発生する。

の発生

その他の反応性情報 : ・特に情報を有していない。

その他の危険性情報 : ・特に情報を有していない。

【有害性情報】

化学物質名	管理濃度	ACGIH(ppm)	ACGIH(mg/m3)	IARC	LD50
酢酸エチル	200ppm	400	1,440		rat 5620 mg/kg
酢酸ブチル	150ppm	150	95		rat 10768 mg/kg

組成物質に関する : 特別な有害性は報告されていない。

その他の有害性情報

【環境影響情報】

- ・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

【廃棄上の注意】

- ・焼却処理をする場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。
- ・廃棄物は、許可を受けた、産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- ・容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。
- ・排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。

【輸送上の注意】

共通事項 : ・取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。
 : ・容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
 陸上輸送 : ・消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従う。
 海上輸送 : ・船舶安全法に定めるところに従う。
 航空輸送 : ・航空法に定めるところに従う。
 国連番号 : 1263
 指針番号 : 128

【適用法令】

- ・労働安全衛生法 危険物（引火性の物）
- ・労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則 第2種
- ・消防法 第4類第一石油類

- ・改正建築基準法 適合品
(社)日本塗料工業会登録 ;2003/06/18
登録番号 ; G 0 1 0 2 4 , G 0 1 0 6 9
ホルムアルデヒド放散等級 ; F
問い合わせ先 ; <http://www.toryo.or.jp>

【その他】

コメント

- : ・危険・有害性の評価は現時点で入手出来る資料、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特別な取扱いをする場合には用途・用法および 状況に適した安全対策を実施の上、取扱いには十分に注意願います。
- すべての化学製品には未知の危険性・有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。